



KOGAKAI

株式会社 古河會

株式会社古河會 会社案内

COMPANY PROFILE BROCHURE

KOGAKAI CO., LTD.

アリババ

古美術の来歴・制作年代を可視化する大規模データベース
先端技術で、グローバル美術品取引の信頼性と価値を最大化

“

会社概要



▶ 企業紹介

株式会社古河會は、日本・京都に本社を置く、制作年代の推定と来歴（プロヴァンス）管理を中心とする文化資産分野のテクノロジー企業です。

美術品オークション、文化資産のデジタル化、科学的鑑定を主要領域とし、「古匠の精神」を受け継ぎながら、AIによる高精度な年代推定、固有識別タグ（マイクロタグ）とブロックチェーンを用いた真正性・権利のデジタル証明、SAAS型統合管理による業務のデジタル化を融合しています。

鑑定から取引、認証までを一貫して支える国際基準に準拠したプラットフォームを構築し、科学的妥当性と透明性、追跡可能性を備えた価値の裏付けを世界の文化資産に提供しています。これにより、グローバルな美術品取引における新たな信頼と価値の基盤を築いています。

理念主導

► ミッション

古河會は「古匠の精神を受け継ぎ、テクノロジーで信頼を築く」という使命のもと、科学的検証とデータ解析を統合し、一貫性・客觀性・検証可能性を備えた制作年代の推定と来歴（プロヴァンス）管理の標準体系を構築しています。

XRF等の元素分析、AI画像認識、ブロックチェーンによる真正性・権利のデジタル証明、SAAS型統合管理を組み合わせ、グローバルな美術品取引に信頼性と透明性のある評価基準を提供します。国際的な相互運用性を重視し、世界各地のオークション、博物館、所蔵機関と相互承認可能なデジタル標準を整備。文化資産の国際流通と価値創出力を総合的に高めます。パートナーシップに基づく相互利益を基本に、オークション運営者、コレクター、保険・文化機関に対し、ライフサイクル全体

► ビジョン

流通するすべての古美術にデジタルIDを付与し、世界中で安心して収蔵・流通できる基盤を築く。テクノロジーで文化の継承を支える。

► 値値観



古河會コアバリュー

市場開拓

▶ 国内外での事業展開

古河會は京都に本社を置き、歴史文化の蓄積と国際的視座を強みに、グローバル展開を加速しています。今後は、北京・上海・香港・シンガポール・ニューヨーク等の主要都市に直営およびフランチャイズ（FC）拠点を順次開設し、美術品取引／文化資産流通の主要ハブを広域にカバーしてまいります。

標準化された運営体制、統一鑑定基準、信頼性の高い認証スキームを整備することで、地域横断のリソース連携・情報共有・業務協働を実現し、鑑定・認証・取引・流通・人材育成までを一気通貫で提供するサービス体系を構築します。

さらに、市場特性や文化背景に合わせた現地最適化（ローカライズ）とカスタマイズを徹底し、グローバルな事業展開と地域密着の両立を図ります。

この国際ネットワークにより、文化資産の越境流通の効率化と取引の安全性を高め、国際的な相互承認を推進してまいります。これにより、文化資産の取引・認証分野における古河會のプレゼンスとブランド力を一層強化してまいります。

● ニューヨーク

● 北京

● 上海

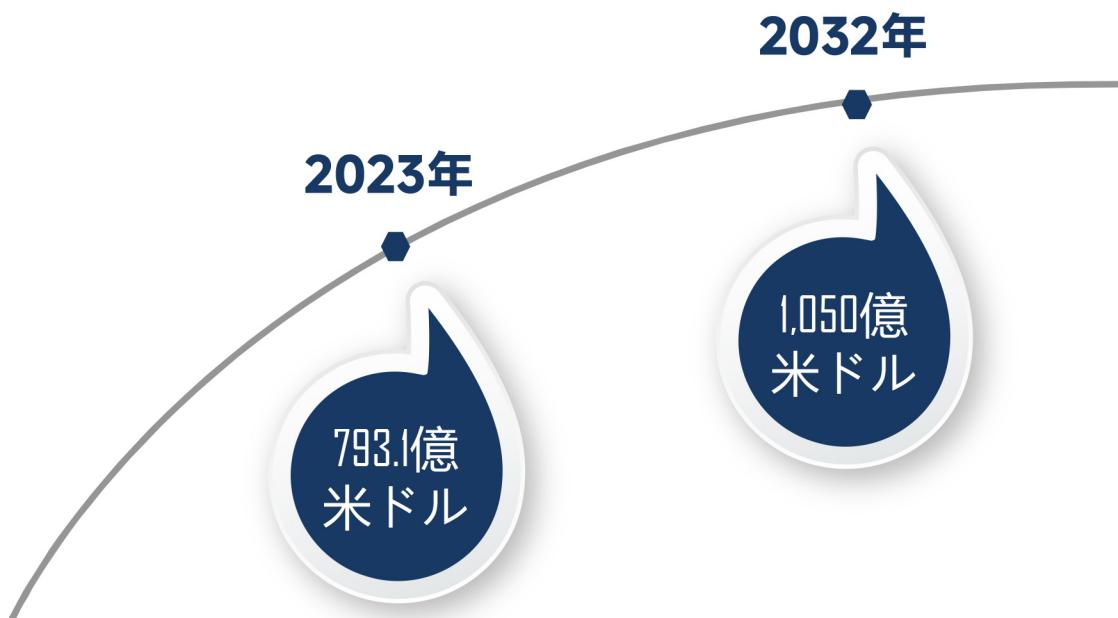
● 京都

● 香港

● シンガポール

市場規模

▶ 世界美術品オークション市場は着実に成長



主要調査では、2023年の世界美術品オークション市場規模は約793億米ドル、2032年には約1,050億米ドルへ拡大する見通しです。2023-2032年の年平均成長率（CAGR）は約3.2%と試算され、富裕層による分散投資需要の継続や、代替アセットとしての美術品の位置付けの定着を反映しています。

マクロ環境の不確実性や資本市場の変動が続く中でも、当該市場は相対的に景気連動性が低く、中長期での安定推移が見込まれます。今後は、取引データの可視化、真正性証明のデジタル化、規制・標準の整備を通じて透明性と流動性が一段と向上し、文化資産領域の市場インフラ高度化と価値創出の拡大が期待されます。

市場の課題

▶ 文化資産市場の現状と論点

文化資産業界における、長年解決されていない三つの課題

1

2

3

鑑定は
経験や目視
に依存

流通は
限られた人脈
に依存

取引全体に
おける信頼
基盤の欠如

文化資産市場は長年、①鑑定の経験依存、②流通の人脈依存、③取引における信用基盤の脆弱性という構造課題を抱えてきました。

従来モデルでは、鑑定プロセスに科学的根拠に基づく標準化されたプロトコルが乏しく、専門家の主観に依存しがちなため、誤判定や見解の不一致が生じやすい状況にあります。流通面では、限定的なネットワークへの依存と市場の可視性不足により、価格発見や資源配分の効率性が損なわれています。取引面では、真正性・権利帰属・来歴のトレーサビリティを担保する仕組みが不十分で、売買当事者間で共通認識の形成が難しいのが現状です。

これらは市場拡大や国際展開を阻害し、新規資本・人材の参入障壁を高める要因となっています。解決には、テクノロジーの活用と標準化（データ仕様・鑑定プロトコル・認証スキーム）の整備が不可欠です。鑑定・流通・取引の各工程で信頼基盤を再設計し、文化資産市場の健全かつ持続的な発展を支えるインフラを構築していく必要があります。

技術的優位性

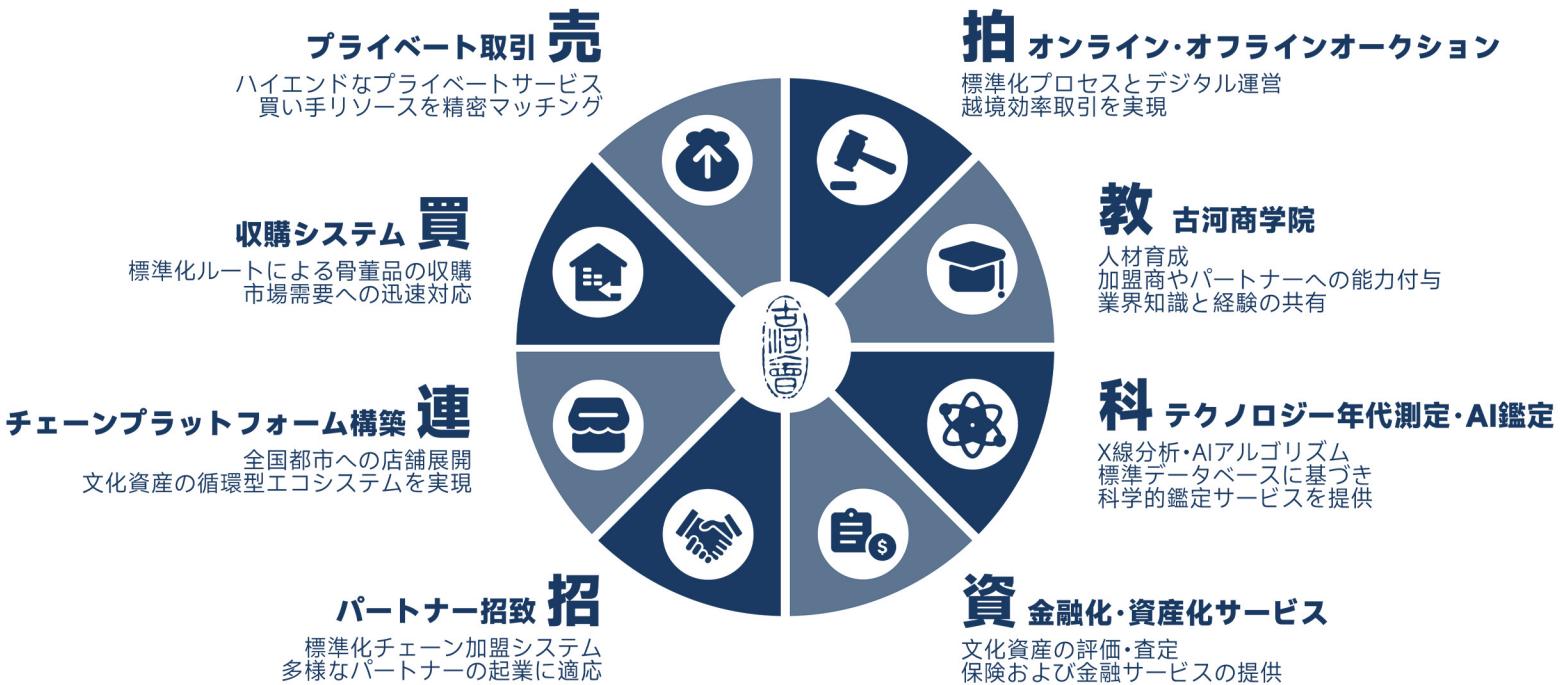
► 独自の4つのコア技術



古河會は先端技術を原動力に、文化資産の鑑定と流通を推進しています。エネルギー分散型蛍光X線分析（EDXRF）、AI画像認識、制作技法・工芸特性の比較を組み合わせ、素材・制作年代・工芸特性を多角的に検証し、科学的妥当性と客観性、再現性を備えた結果を裏付けます。また、トレーサビリティを備えた古陶磁標本のリファレンスデータベースを基盤とし、制作年代の推定と来歴（プロヴァンス）管理に一貫した根拠を提供します。さらに、ブロックチェーンへの記録と固有識別タグ（マイクロタグ）を組み合わせ、各作品に固有のデジタルIDを付与し、ライフサイクル全体にわたり改ざん耐性・真正性の検証・権利確認を実現します。加えて、自社開発のSAASプラットフォームにより、検査・鑑定／認証／流通／取引の全工程を一元管理し、高い効率性と透明性、そして標準化された運用を可能にしています。

事業体系の優位性

▶ 8つの機能を統合した独自ビジネスモデル



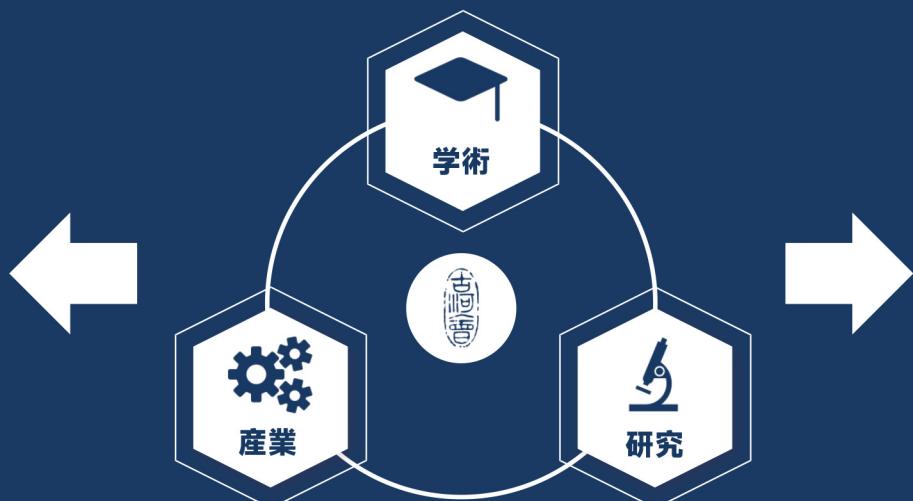
古河會は、「売・買・拍・教・科・資・招・連」の8機能を統合した独自のビジネスモデルを構築し、文化資産の取得・取引・鑑定・流通・価値向上まで全バリューチェーンをカバーしています。プライベートセールと標準化された調達フローにより、買い手基盤との的確なマッチングを実現。多拠点型プラットフォーム（チェーン展開）によって、文化資産の循環型エコシステムを形成します。パートナー/FCの募集を通じて協業ネットワークを拡大し、評価・査定・保険・金融サービスまで幅広く提供します。さらに、EDXRF等のX線分析とAIによる制作年代の推定を活用し、高精度で信頼性の高い鑑定を実現。「古河商学院」では人材育成とナレッジ共有を推進しています。標準化されたプロセスとデジタル運営を組み合わせることで、オンライン・オフライン、さらには越境取引においても効率的なオークション運営を可能にしています。

知恵と探求による共創

▶ 産学研連携を活かした競争優位

古河會は、日中両国の制作年代推定の専門家チームを中心として、日本および中国の有力研究機関の知見を結集し、国境・分野を横断する産学研連携体制を構築しています。先端研究の成果と現場知を融合し、EDXRF等の元素分析、AI画像認識、制作技法・工芸特性の分析を組み合わせて、素材分析・制作年代の推定・来歴（プロヴァンス）管理の領域で国際水準の技術基準とプロトコルを整備しました。さらに、大学・研究機関との継続的な共同研究とデータ連携を通じ、最新の計測・分析技術やデータモデルを取り入れることで、鑑定結果の科学的妥当性・再現性・先見性を高めています。この産学研一体モデルにより、文化資産分野における年代推定と来歴トレーサビリティでの当社の技術的優位性を一層強化し、業界の標準化および国際的な相互承認の実現を支える確かな学術・技術基盤を提供しています。

人材の育成



技術の革新

創業者メッセージ

▶ 創業の原点と未来への展望

十数年にわたり日中間の美術品流通・オークション事業に携わるなかで、私には一つの揺るぎない信念があります。文化資産は、歴史と美学を内包するだけでなく、世界と未来を結ぶ架け橋である——。

私は、次のように考えています。

- ・文化資産の価値は、正確に見極め、敬意をもって扱われるべきである。
- ・取引の信頼は、テクノロジーと標準化によって支えられるべきである。
- ・業界の発展は、商業的効率と文化継承の両立によって実現されるべきである。

この信念のもと、私は次の三つの志を掲げました。

1. テクノロジーで文化資産に新たな価値をもたらし、業界の標準化と国際化を推進する。
2. 安全で透明な取引環境を整え、世界中のコレクターや機関が相互信頼のもとで価値を共有できるようにする。
3. 持続可能な循環型経済プラットフォームを構築し、より多くの起業家が業界成長の成果を分かち合える環境をつくる。

古河會は、もはや単なるオークション会社ではありません。テクノロジー×ビジネス×コミュニティを統合した文化資産の循環型経済プラットフォームとして、革新を通じて業界の進化を牽引し、信頼と価値を世界へ循環させていきます。



株式会社古河會 | 創業者 兼 会長

吉永 奈央
YOSHINAGA NAO

協業モデル

▶ オークションハウスとの提携

出品作品に対し、信頼性の高い認証を提供。成約率や市場評価額を大きく向上させ、購入者の信頼を強化します。

▶ コレクター向けサービス

各収蔵品に固有の「デジタルID」を付与し、長期かつ追跡可能な来歴・取引記録を構築。価値検証や真贋確認を可能にします。

▶ 博物館・文化機関との連携

業界標準を共同で策定し、共有データベースを構築。研究・展示・流通における高度な連携を実現します。

▶ 保険機関との協力

科学的検証と標準化データを提供し、鑑定・査定・リスク管理のための確かな根拠として活用します。

▶ 協業の流れ

協業申請から成果納品まで、古河會は効率性・透明性・追跡可能性を備えた一貫システムを運用しています。

収蔵品は検測段階に入った時点で標準化された作業フローに組み込み、科学的検査、信頼性の高い認証、データ登録を経て、情報の真正性・完全性・検証可能性を確保します。

認証完了後は、流通・保管・取引の状況をシステムが継続的に追跡し、ライフサイクル全体の管理と保護を実現。これにより、文化資産の流通過程における真正性と安全性を担保するだけでなく、確かな裏付けと追跡可能な記録によって価値の維持・向上を支え、世界市場から信頼される価値体系を築いています。

協業
申請

サンプル
検査

データ
登録

認証
発行

継続
モニタリング



「
テクノロジーで、文化資産に新たな価値を
信頼で、世界の美術品取引を結ぶ
」

提携連絡



WECHATサポート1



WECHATサポート2



LINEサポート

株式会社古河會 | WWW.KOGAKI.CO.JP

電話： +81-75-468-1620

メール： KOGAKAI1@KOGAKAI.JP

住所： 〒603-8835 京都府京都市北区大宮西総門口町42-1